

心ふれあう ふるさと自慢

安心安全 和田のまち

第2期（2022年度～2026年度）

和田コミュニティ協議会

[地域振興計画]



所在地：鹿児島市和田2丁目2-10

TEL/FAX：099-202-0233

E-mail：wadakk@po5.synapse.ne.jp

目次

策定のねらい	1
校区写真	2
和田の地名由来	3
校区の概要	4
各部会の現状と課題及び具体的な取組み	5
まちづくりの目標	13
推進組織と主な活動	14
和田音頭	15
和田名所甚句	16
住民アンケート結果	17
プラン策定までの経過	30
プラン策定委員	31
和田小学校区 安心・安全マップ	32

策定のねらい

自分たちが住んでいる和田校区の未来像を描き、多様な課題解決や暮らしやすい地域づくりに取り組んでいくための具体的な計画です。向こう5年間のまちづくり計画を策定し、住みやすく活気ある地域づくりを目指すものです。



校区写真



昭和 50 年



令和元年



昭和初期



令和 2 年



昭和初期



令和 3 年

和田の地名由来

和田の歴史（町名）〈鹿児島市〉

鹿児島湾奥西岸、和田川下流域に位置する。地名は海の神綿津見神の錦に基づくもので海辺の意味という。[中世]和田室町期から見える地名。薩摩国谿山郡のうち。応永7年4月19日の島津元久書下に「薩摩国 谷山郡和田村并佐屋脇半分事」と見え、当地が伊作久義に宛行われている（伊作譜／旧記雑録）。次いで、同32年6月1日の島津忠国加判蒲生忠清寄進状では、「和田内井尻五段」が建忠寺に寄進されており（福昌寺文書／旧記雑録）、文安5年11月7日付の2通の伊佐智佐権現坪付では当地内の伊佐智佐神領として「霜月廿日御祭田」「八月ひかんの御祭」などが見える。戦国期の天文5年2月の谷山伊佐智佐社々領坪付にも「霜月廿日御祭田」「五月五日かくらてん」などの当地内の神領が記されている（谷山伊佐智佐権現文書／旧記雑録）。また、寛正6年の鹿児島諏訪社祭次第では4番に「谷山之和田」が見える。

[近世]

和田村 江戸期～明治22年の村名。谿山都谷山郷のうち。村高は、「天保郷帳」では591石余、「旧高旧領」では538石余。神社は飯綱大明神（三国名勝図会）。「県地誌」によれば、戸数418、人口1,900、うち士族58・平民1,842、馬51、漁魚船121。物産は米・麦・粟・大根・甘藷・鮎・鯖・鯛・ウルメなど。民業は、農業130戸・漁業212戸・商業63戸。公立小学校は2校あり、生徒数は各々男子63・42。神社は伊佐智佐神社。村内を山川路が通る。明治22年谷山村の大字となる。

[近代]

和田 明治22年～昭和33年の大字名。はじめ谷山村、大正13年からは谷山町の大字。昭和33年和田町となる。

[近代]

和田町 昭和33年～現在の町名。はじめ谷山市、昭和42年からは鹿児島市の町名。

昭和44年の世帯数630・人口2,212。昭和42年から海岸が埋め立てられ漁港として栄えた面影はなくなった。

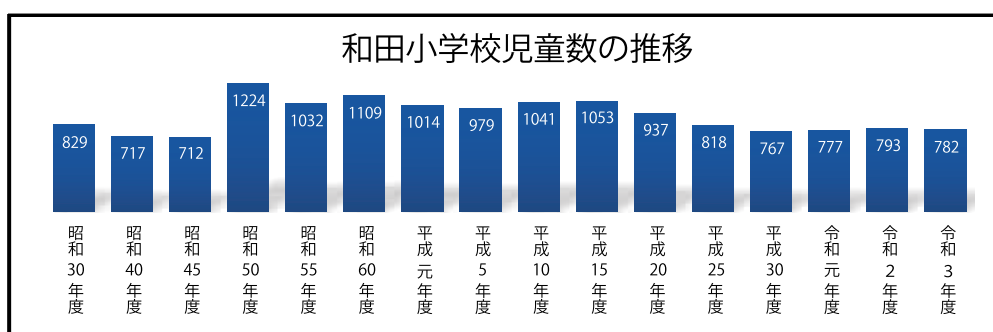
この資料は、角川文書 鹿児島県地名大辞典より

校区の概要 (2022年4月現在)

私たち和田校区は、鹿児島市の南部に位置し、北は谷山市街地から南は坂之上台地へ続き東は工業団地を経て錦江湾を臨みながら和田川の清流に包まれている自然豊かな校区です。地域住民同士のふれあいも盛んで、校区コミュニティ協議会や町内会などを中心に青少年健全育成やふるさとづくりなど様々な地域コミュニティ組織の活発な活動に支えられながら、住民が一体となり「住みよいまちづくり」に取り組んでいます。

- (1) 人口 男子 6,419 人 女子 7,002 人 合計 13,421 人
<2015 年国勢調査>
- (2) 校区世帯数 5,572 世帯 <2015 年国勢調査>
- (3) 町内会加入世帯 2,417 <2021 年 6 月現在>
和田塩屋 (122) 一番組 (125) 森山 (85) 掛之下 (104)
和田名 (700) 坂之上東前 (650) 坂之上東中 (320)
慈眼寺東 (86) 慈眼寺西 (107) 慈眼寺南 (118)
- (4) 主な自然環境等
海<錦江湾・七ツ島> 川<木之下川・和田川> 港湾<谷山港>
慈眼寺公園周辺地区指定
- (5) 主な伝統・文化
鬼火焚き・六月灯・十五夜・校区大運動会・校区文化祭
- (6) 主な関係施設
和田福祉館
ふるさと考古歴史館・慈眼寺公園
市民体育館・南消防署
県交通安全教育センター
谷山観光そうめん流し

※2020 年国勢調査の校区ごとの人口・世帯数の調査結果は、2022 年 1 月現在で公表されていないことから、(1)、(2) については 2015 年国勢調査の数値を記載。



R 元 (単位：人)

各部会の現状と課題及び具体的な取組み

まちづくり総務部

【現状】							
1. 住民同士の情報共有が難しい地域がある。 2. ごみステーションのルールを守らない人が多い。 3. あいさつ、声かけなど人間関係は良好であるが、周知・案内している情報の伝達方法やタイミングがばらばらで、確実に伝わらないこともある。 4. 防犯・防災などの学習機会を設けてほしいという声がある。 5. 次世代の人材育成が大事になる。高齢化で、町内活動が低迷し、地域差がある。役員の高齢化により地域行事の担い手が不足している。 6. 自然や歴史、史跡伝統文化が残っているが、交通量が多く危険な箇所も見られる。							
【課題】							
1. 世代間、転入者間の交流を目的とした活動や場が少ない。 2. ごみステーションの管理に苦勞している。 3. 情報の充実、情報が届かないところへの対応、情報周知の改善が必要である。 4. 健康や、気象災害に対する学習活動や研修会の具体的計画、開催が必要である。 5. 町内会加入促進を図るにはどうすれば良いか分からない。 6. 通学路の安全確保、公園など子どもが安全に遊べる場所が少なく、遠い。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短期	中期	長期	
1	安心安全ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策の協議 実践活動 校区マップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい環境づくり 防犯対策 	○			継 連
2	コミュニティだより	<ul style="list-style-type: none"> 年間6回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動 情報共有 	○			継 連
3	和田プラチナ事業	<ul style="list-style-type: none"> おしゃべりサロン カラオケ、談話 校区の委員経験者の会 世代間交流、意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 世代間ふれあい交流 情報交換・仲間づくり 校区の委員経験者との交流、意見交換 		○	○	継
4	町内会加入推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 広報チラシ 呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動支援 		○		継

5	防犯防災研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講話 ・演習 ・実習訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の意義向上 		○		継
6	青色防犯パトロール 随時巡回	<ul style="list-style-type: none"> ・青色防犯パトロール車での校区見守り 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒、高齢者の安全対策、犯罪防止 	○			新
7	情報伝達・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい情報伝達方法作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・隅々まで情報が伝わる。 ・広報周知の在り方 		○		新
8	健康づくり対策	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 ・実習訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の意識付け ・健康体操による体力維持 		○		新
9	防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の抑止 			○	新

【第1期プランの反省及び検討内容】

- ・青色防犯パトロール巡回を取り入れ、まちづくり、安全のため随時活動していきたい。
- ・情報伝達の差があることが明らかになったため、情報伝達の仕組みづくりを取り入れたい。
- ・起こりうる災害に対しては、地域でも取り組む必要性があることから災害対策活動を取り入れる。
- ・OB プラチナ事業と、OB プラチナ会は第一期に目標としたが実施できなかったため今回集約し、和田校区での充実や、生きがいをいくつになっても感じられるような取組みをしていきたい。
- ・コミュニティだよりも、地域の情報も掲載し広報したい。一期では年8回の発行であったが、年6回とする。
- ・町内会の役割負担や役員の担い手、後継者が育たないことから、今後も若い世代を巻き込んで活躍の場を提供し、活動に参加を促したい。



青少年育成部

【現状】							
1. 学校と協力しながら色々な行事を行っている。 2. あいご会は、市民みんなで育成する組織であることを理解していない人が多い。 3. 地域での世代間交流が不足している。(高齢者とのふれあい活動など) 4. 少子化・核家族化や共働きの増加などにより、家庭や地域での教育力が低下している。 5. 夜間補導、環境点検、危険箇所点検を行っている。 6. 携帯やインターネットなどでの有害情報が青少年の健全育成に弊害をきたしている。							
【課題】							
1. 自然体験活動を進めていく必要がある。 2. 魅力ある育成団体の構築、あいご会加入促進の徹底を図る。 3. 異年齢での集団活動・高齢者とのふれあい活動等の行事を計画する必要がある。 4. 家庭教育の充実を図る必要がある。 5. 実際の不審者情報の周知、危険な時にどこで助けてくれるかなどの認識を図りたい。 6. 命や人権の大切さなど、道徳的な話を聞かせたい。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短期	中期	長期	
1	青少年健全育成大会	<ul style="list-style-type: none"> 実践活動 鬼火焚き 昔のお正月遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育力の向上 情報交換、健全育成 	○			継
2	あいご球技大会	<ul style="list-style-type: none"> ドッジボール 	<ul style="list-style-type: none"> あいご活動支援 ふれあい交流 	○			継
3	餅つき大会	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と青少年との年末行事 	<ul style="list-style-type: none"> あいご活動支援 ふれあい交流 仲間づくり 	○			継
4	リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 古新聞、瓶など資源回収 	<ul style="list-style-type: none"> 環境、マナー意識の向上 	○			継
5	危険箇所河川上流 現場点検	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所点検 見回り 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策への意識啓発 	○			継
6	夏季夜間 夏祭り補導	<ul style="list-style-type: none"> PTA 連携、巡回 街頭補導 	<ul style="list-style-type: none"> 非行未然防止 防犯対策 	○			継
7	夜間補導 環境点検	<ul style="list-style-type: none"> 学期末、7月、12月、3月に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 非行未然防止 防犯対策 	○			継
8	立志の集い	<ul style="list-style-type: none"> 立志の意義 激励、講演 	<ul style="list-style-type: none"> 自覚、自信、感謝の心を育む。 	○			継

9	情報モラル教育	・SNS、インターネット トラブル防止	・児童、生徒のネット使用時の安全対策意識啓発			○	新
【第1期プランの反省及び検討内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・近年児童、生徒のネット使用時のトラブルが多発している。書き込み内容や個人情報の取り扱い方など身近に潜む危険について考える必要がある。 ・あいご会加入促進のためには魅力ある団体にすることを考える。 							



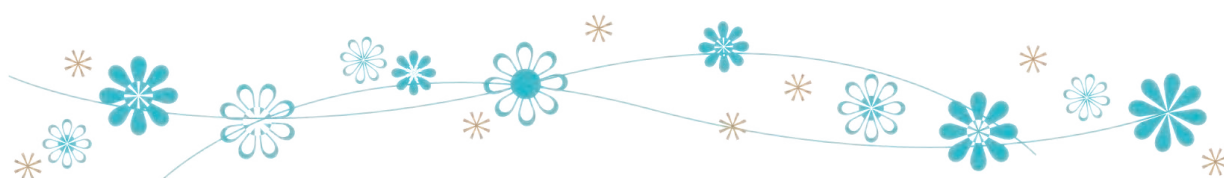
社会教育部

【現状】							
1. 社会学級（女性・成人）の参加者が少なく、参加者も限定している。 2. 地域行事が多いため、参加者が負担になっている。 3. 校区の学習グループの実態把握が出来ていない。 4. 生涯学習への理解を深める必要がある。 5. 校区行事への参加を促す方法が不足している。							
【課題】							
1. 社会学級の内容や運営の工夫が必要である。 2. 校区内で気軽に参加できる講座を企画する必要がある。 3. 成人学級の充実を図る。 4. 講師依頼の工夫が必要である。 5. 地域住民への周知の工夫が必要である。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短 期	中 期	長 期	
1	成人学級	・講話、実習、実技、 研修会の出席 (年 10 回)	・生涯学習活動の推進、 仲間づくり	○			継 連
2	女性学級	・講話、実習、実技、 研修会の出席 (年 10 回)	・生涯学習活動の推進、 仲間づくり	○			継 連
3	人生学級	・年 1 回成人学級と女性 学級共同開催 ・健康講座等の実施	・情報交換、共有 ・健康増進	○			新
【第 1 期プランの反省及び検討内容】							
・成人学級の、参加者が少ない。今後は広報の仕方を工夫し、素晴らしい話をたくさんの方に聞いていた だきたい。 ・年 1 回は成人学級と女性学級の共同開催を行い、情報の交換、共有を行っていきたい。							



地域福祉部

【現状】							
1. 自然環境、生活環境が良く住みやすい。 2. 高齢者が自ら動ける範囲で生きがいづくりに取組む企画を継続している。 (お達者クラブ、老人会、グラウンドゴルフ同好会等) 3. 地域ぐるみの見守り・防犯・防災体制が充実している。 (コミュニティ協議会の防犯パトロール、夜間補導、町内会の防犯組織)							
【課題】							
1. 地域みんなが気軽に集い、語らう場所を確保する。 地域福祉に関する情報提供、相談窓口が必要である。 子育て支援策の充実を図る。 和田小学校教育活動への支援(地域職者の活用) 2. 地域相互扶助精神が必要である。 3. 一人暮らしの高齢者が多くなり、独居老人対策を考える必要がある。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短 期	中 期	長 期	
1	高齢者の見守り	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者等の巡回、見守り 安心情報キットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全・助け合い福祉知識の向上 救急搬送時の情報提供 	○			継 連 新
2	社協ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのふれあい 出店、学習発表、おもてなし 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉館の協力福祉の充実、地域連携 	○	○		継 連
3	社会福祉関係の情報提供、相談	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉への安心感 	○			継 連
4	子育てサロン	<ul style="list-style-type: none"> 親子遊び、親子体操等 毎月第3木曜日 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会活動の協力と連携 	○			継 連
5	小学校支援ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 各分野講師による教育活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校の連携 	○			継 連
【第1期プランの反省及び検討内容】							
<ul style="list-style-type: none"> 新規事業として、社会福祉協議会と連携をとり、高齢者の見守り活動の一貫として、安心情報キットの配布を追加する。 							



社会体育部

【現状】							
1. 歩こう会の参加者が少ない。 2. 各種行事の参加を促す広報が不足している。 3. 大会等への参加者が限られた人になっている。 4. スポーツや仲間づくり・体力づくり等への関心はあるが参加しない人がある。 5. 各種大会の代表者会議を年3回実施している。 6. 恒例の「ソフトボール」「ソフトバレーボール」「校区大運動会」「グラウンドゴルフ」等は盛況である。							
【課題】							
1. 地域住民の歩こう会への参加が少ない。 2. 各種行事の広報の拡充を図る。 3. 各年齢層が気軽に参加しやすい活動はないか。校区大運動会プログラムの見直しを検討する。 4. スポーツを通じた地域づくりの推進。自分の健康は自分でという意識の高揚を図る。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短 期	中 期	長 期	
1	歩こう会	・校区内の史跡めぐり ・校区内の施設めぐり	・ふれあい交流 ・地域探索	○			継 連
2	ソフトボール大会	・町内会対抗及び 小学校職員参加	・ふれあい交流 ・健康づくり	○			継
3	ソフトバレーボール大会	・町内会対抗	・ふれあい交流 ・健康づくり	○			継
4	校区大運動会	・住民総参加の町内会 対抗	・ふれあい交流、親睦 ・健康づくり	○			継
5	グラウンドゴルフ大会	・児童も参加して気軽に できるスポーツ	・ふれあい交流 ・仲間、健康づくり	○			継
6	風船バレー	・各年齢層が手軽に参加 できるスポーツ	・健常者、障害者問わず 参加できるふれあい交 流	○			新
【第1期プランの反省及び検討内容】							
・歩こう会への参加者が少ない。住民及び少年団への参加啓発が必要である。 ・各年齢層が手軽に参加できる活動（風船バレー）などを導入する。 ・校区大運動会のプログラムの見直し、参加者拡大を図る。							

文化研修部

【現状】							
1. 校区文化祭は、小学校のバザーと同一日にすることで、幅広く周知されてきている。 町内会のサークル等に声掛けして、出品者も増えている。 2. 各種研修会へは、女性学級と連携して参加している。 3. 文化講演会は行えていない。 4. 世代を超えて参加できるような小規模な文化的サークル活動が少ない。							
【課題】							
1. さらに幅広く参加してもらうための広報が必要である。 2. 校区住民に研修行事への参加を促す広報の仕方が必要である。 3. 校区住民が参加できる講演会を開催したい。 4. 各町内会などで行える世代の垣根を超えた小規模文化的サークルを開拓していく必要がある。							
【事業計画】							
番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継 連 新
				短 期	中 期	長 期	
1	校区文化祭	・自主学習や趣味の作品等を舞台、展示発表する。	・学習活動発表 ・ふれあい交流	○			継
2	谷山市民会館「文化祭」	・展示発表 ・舞台発表	・社会教育や自主学級の成果発表	○			継 連
3	文化講演会	・ニーズに合った講演	・生涯学習活動の推進			○	継
4	研修会、講演会	・人権問題、市主催教育研修会等	・生涯学習活動の推進	○			継 連
5	わだ enjoy プロジェクト	・文化的活動（伊佐智佐祭り） ・創作活動 ・谷山ふるさと祭りへの参加	・小規模な文化的サークルの開拓及び活動 ・世代間のふれあい交流		○		新
【第1期プランの反省及び検討内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・谷山市民会館「文化祭」はまちづくり総務部より引き継ぐ。 ・「文化講演会」は第1期プランでは行えなかったことを踏まえ、第2期では、数年に一度程度の開催を目標とし、長期的な計画で活動していく。 ・新しいプランとして『わだ enjoy プロジェクト』を企画。「和田を楽しむ。和田で楽しむ。」をコンセプトに様々な年代との交流を目的とした活動を中期的計画として盛り込んだ。小規模で行える世代間を超えたサークル活動の開拓や大小様々なイベントの企画等を行う。 							

I スローガン

**心ふれあう ふるさと自慢
安心安全 和田のまち**

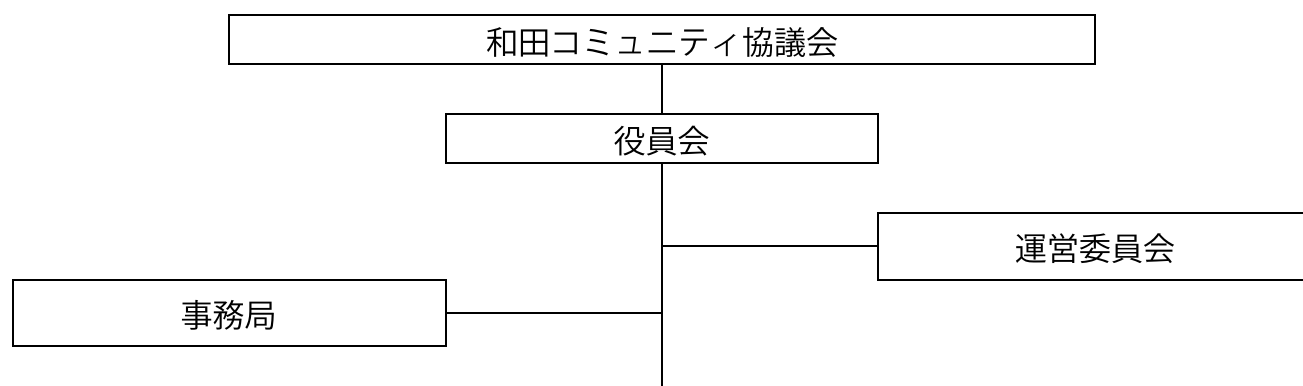
II 目指す未来像

地域住民が、安心安全に暮らせるように、お互いに信頼して助け合い、又、地域でふるさと自慢ができ、元気を感じる活力ある豊かな人間関係が築かれるような地域コミュニティを目指し、自助・共助・公助により連携し活動していくまち。

<運営方針>

- (1) 校区内諸団体との連携を深める中で、校区全体の文化的・体育的活動の推進を図る。
- (2) 専門部活動の活性化を図るため、各専門部の連絡を十分にとり専門部ごとの計画にしたがって事業の推進を図る。
- (3) 地域と関係機関と綿密な連携を図り、高齢者・青少年を育む環境づくりに努める。
- (4) 「あいさつ運動」「ネットワーク」などで子ども・高齢者に声かけや見守り的な活動を推進することに努める。

推進組織と主な活動



部 会	活動方針	主な活動
まちづくり総務部	活力に満ちた明るい住みよい地域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全ネットワーク ・コミュニティだより ・専門部との調整
青少年育成部	家庭・学校・地域が連携して青少年を育む環境づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成大会（鬼火焚き、昔のお正月遊び） ・立志の集い ・あいご球技大会 ・環境点検・夜間補導
社会教育部	ふれあい学びあう生涯学習の拡充を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・成人学級 ・女性学級 ・人生学級
地域福祉部	関係機関・団体等と連携した安全安心な福祉社会づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守り ・社協ネットワーク ・子育てサロン
社会体育部	住民の健康増進とふれあい交流活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール大会 ・ソフトバレーボール大会 ・校区大運動会 ・グラウンドゴルフ大会 ・歩こう会 ・風船バレー
文化研修部	わがまち自慢校区の伝統文化の継承活動を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校区文化祭 ・文化講演会 ・わだ enjoy プロジェクト

一、春のさくらに もみじの秋に ヨッ トコシヨイ

おじゃれ慈眼寺 おどりもはづむ ヨイヨイ

よめじよ とるなら

よめじよ とるなら 和田おごじよ サテ

※ヤンレヤレコノ スッチヨコ チヨイチヨコ

和田はよかところ がつついな※

二、かおる潮風 砂浜ゆけば ヨッ トコシヨイ

松の青さに 白帆もまねく ヨイヨイ

夢をみるよな

夢を見るよな 七ツ島 サテ

※ くりかえし ※

三、積んだかますに おみきを上げて ヨッ トコシヨイ

送りしゃんせよ 伊佐智佐さまを ヨイヨイ

今日はバカホゼ

今日はバカホゼ 浜くんだり サテ

※ くりかえし ※

四、風が身にしむ 潮風夜風 ヨッ トコシヨイ

主(ぬし)は船人(ふなと)よ 霜夜の長さ ヨイヨイ

夜明け待たるる

夜明け待たるる かえり船 サテ

※ くりかえし ※

五、海にやしろがね うろこがはねりや ヨッ トコシヨイ

陸(おか)にやこがねの稲穂が垂れる ヨイヨイ

水と土との

水と土との 平和郷(きょう) サテ

※ くりかえし ※

和田音頭を踊る子供達



創立 50 周年

和田音頭は、昭和二八年五月 和田小学校五十周年に和田校区にて募集があり、東前町内会に住んでおられた 下福 聡さんが、作詞作曲したこの歌が採用されたそうです

※その時の選者は、椋 鳩十 (久保田 彦穂)

和田名所甚句

和田名所甚句

作詞 柿元かずお

〈ハ〉 ドスコイ ドスコイ

ハ エ

〈ハ〉 ドスコイ ドスコイ

和田の名所をよ 甚句にとけばよ

〈ハ〉 ドスコイ ドスコイ

ハ 苔むす岩膚

慈眼寺は

鎌倉時代の

そのままに

桜島山

望みつつ

谷山神社で

願かける

桜公園

花見客

ソーマン流しの

冷たさよ

もみじの青葉

その下を

流るる水は

和田川に

浜に出たなら

久津輪崎

赤岩とやらが

あったとか

一口っダコが

とれたとか

白い砂浜

その先にゃ

風光明媚な

七ツ島

それらを見下ろす

氏神の

伊佐智佐神社の

いにしえは

千年前に

さかのぼる

和田の

民びとをよ

は 守らるるよ

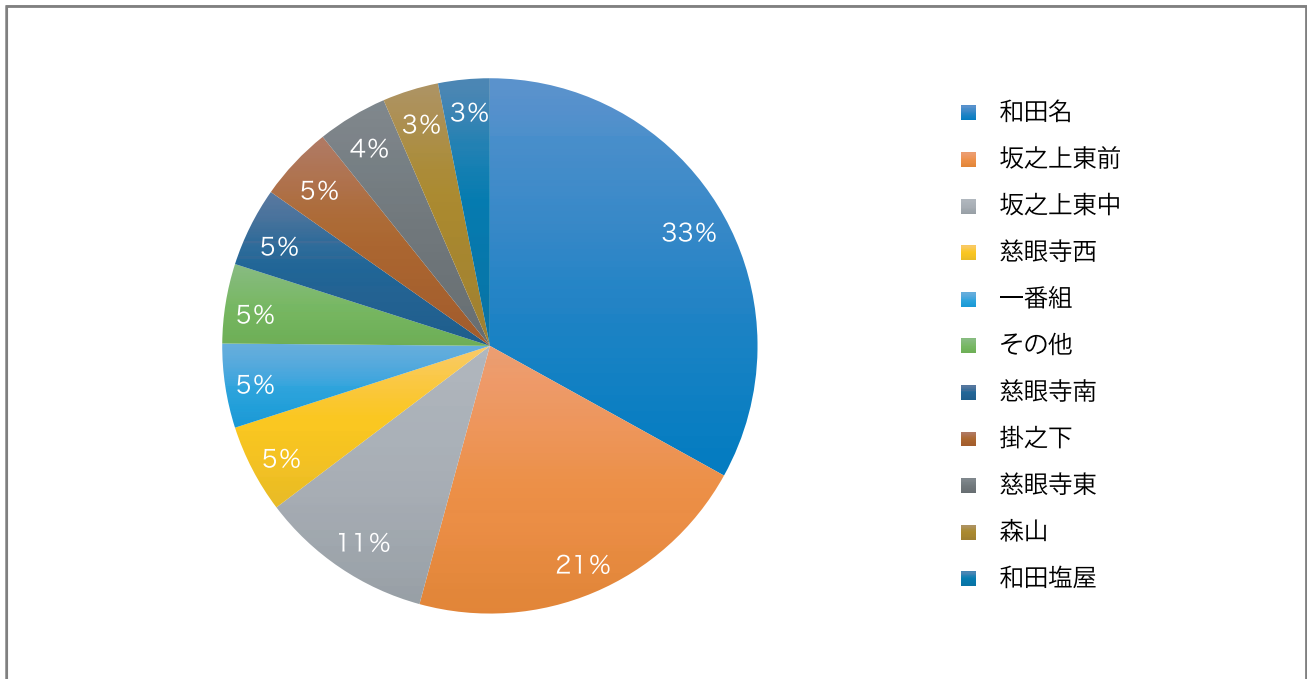
〈ハ〉 ドスコイ ドスコイ



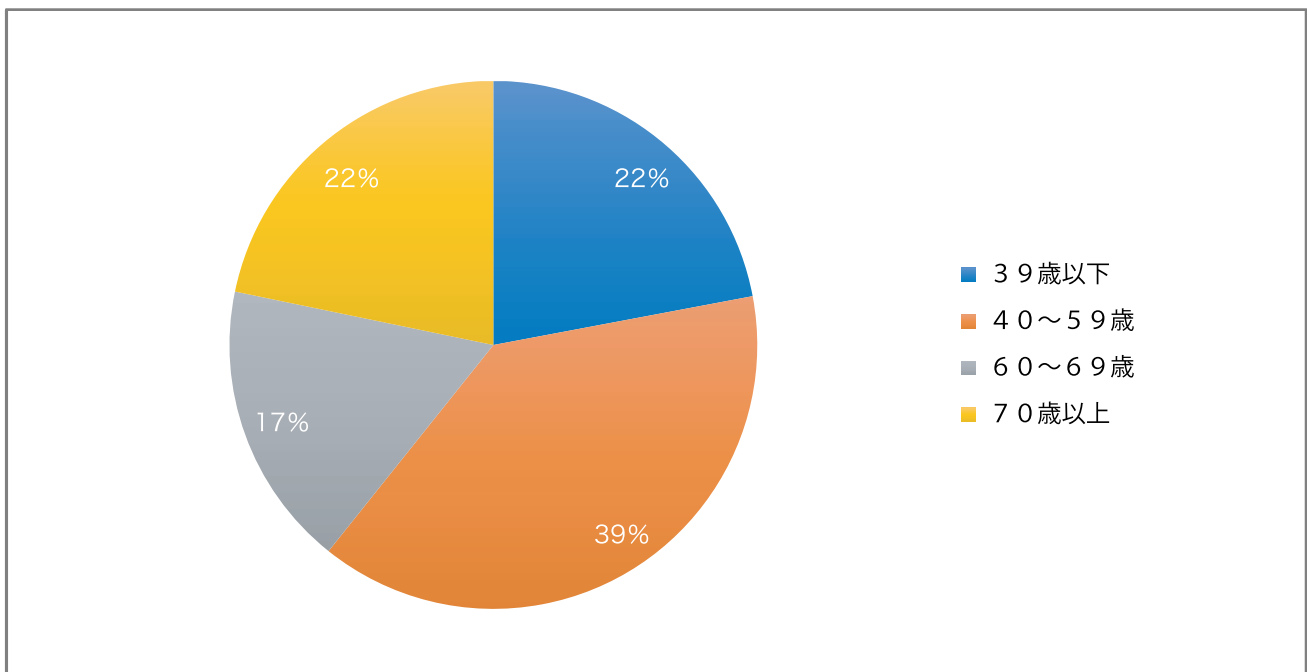
住民アンケート結果

配布数量：520 回答数：354 解答率：68%

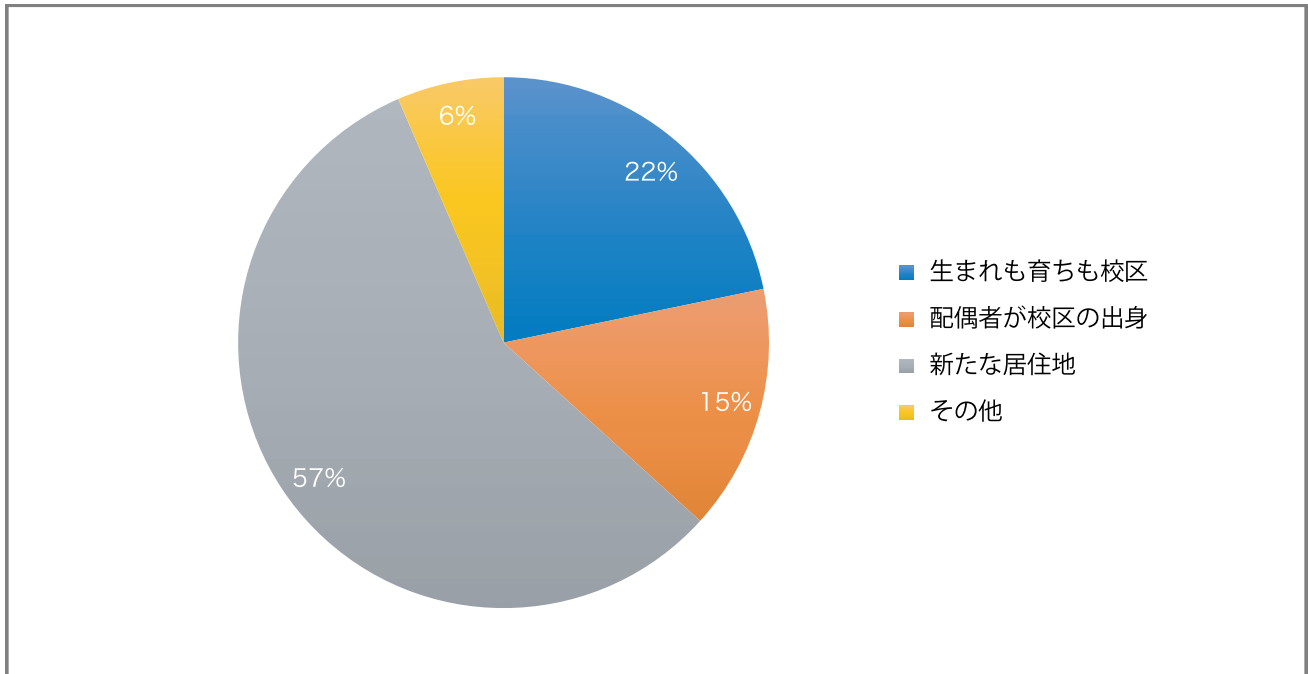
1-問1 現在、お住まいの行政区はどこですか。



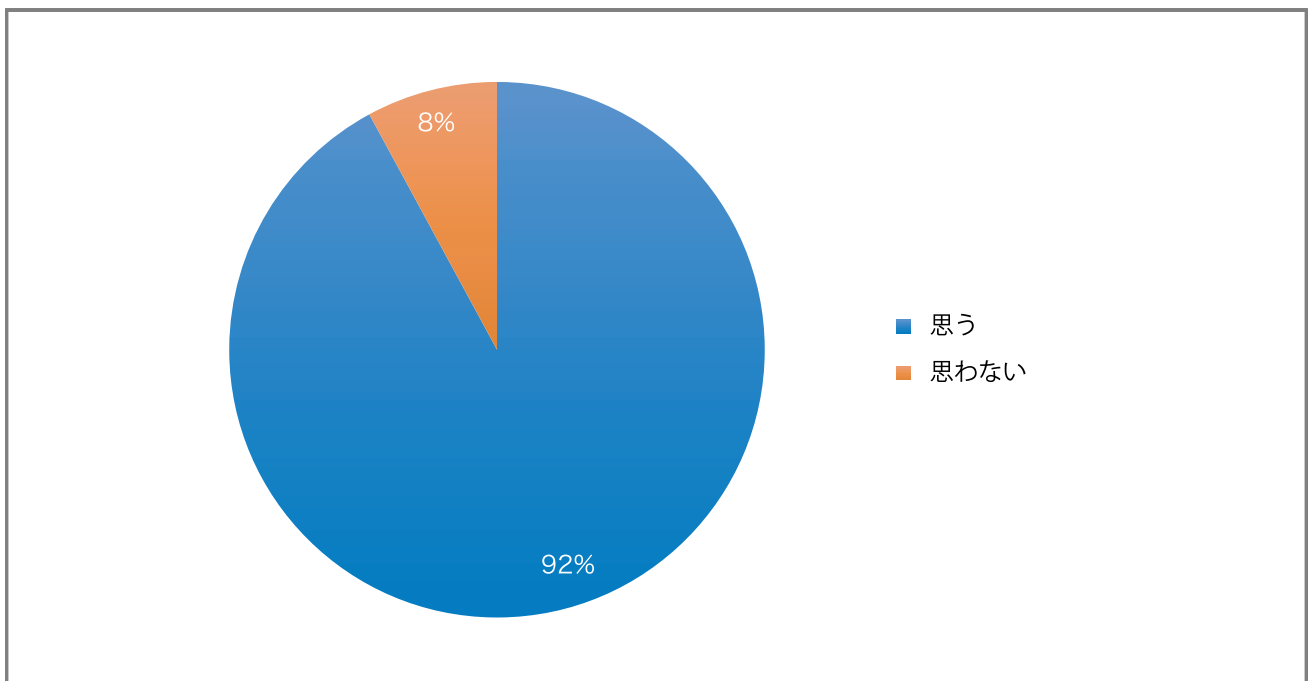
1-問2 あなたは満何歳ですか。



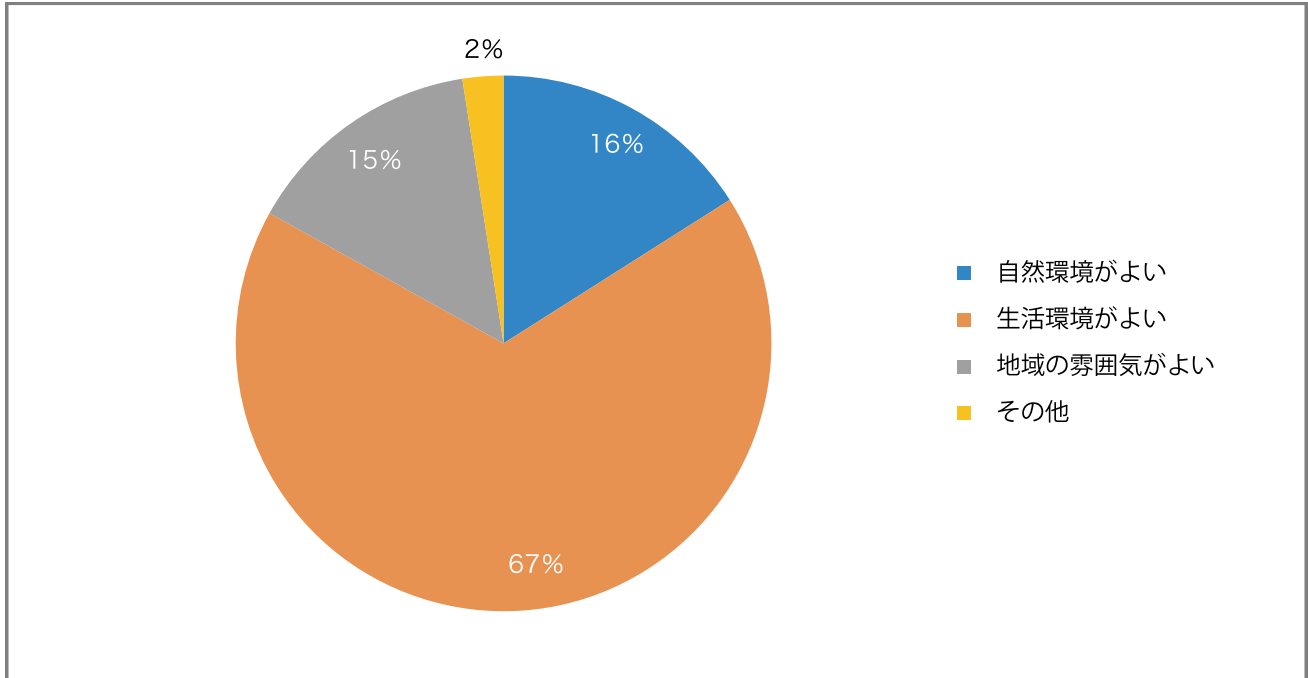
1-問3 校区に住んでいる理由は何ですか。



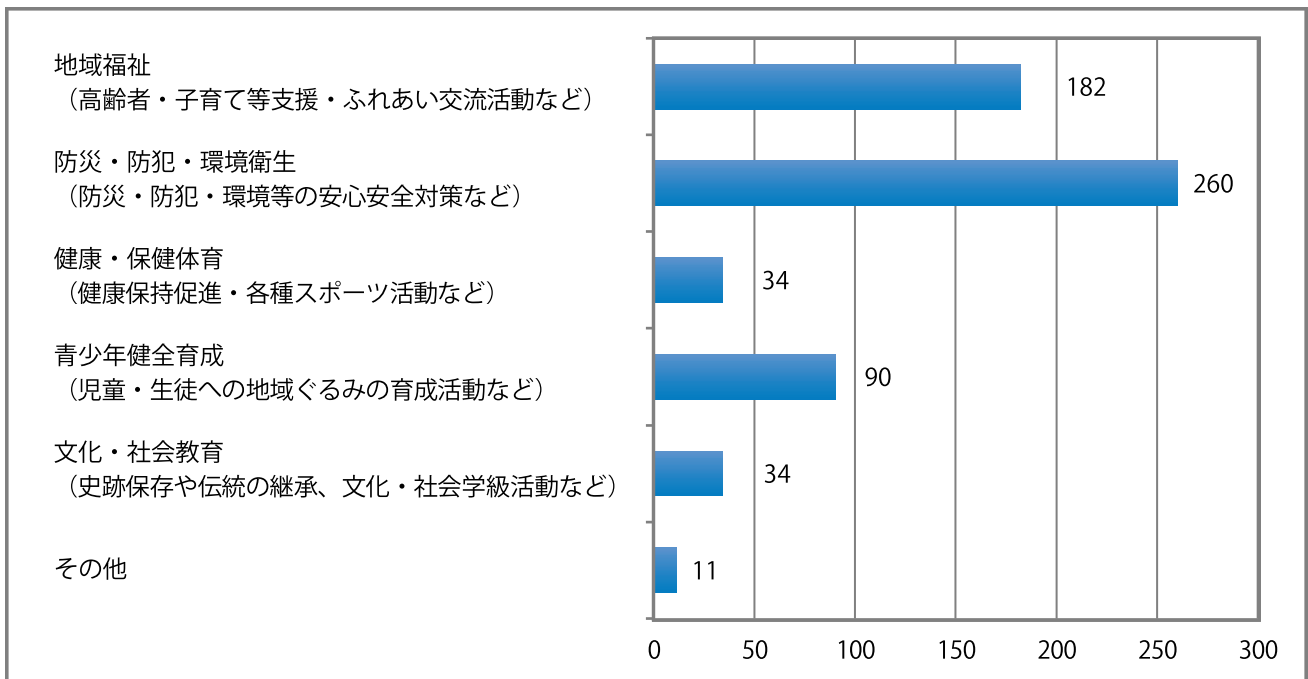
2-問1 地域は住みやすいと思いますか。



2-問2 住みやすいと思う人におたずねします。(その理由は何ですか。)

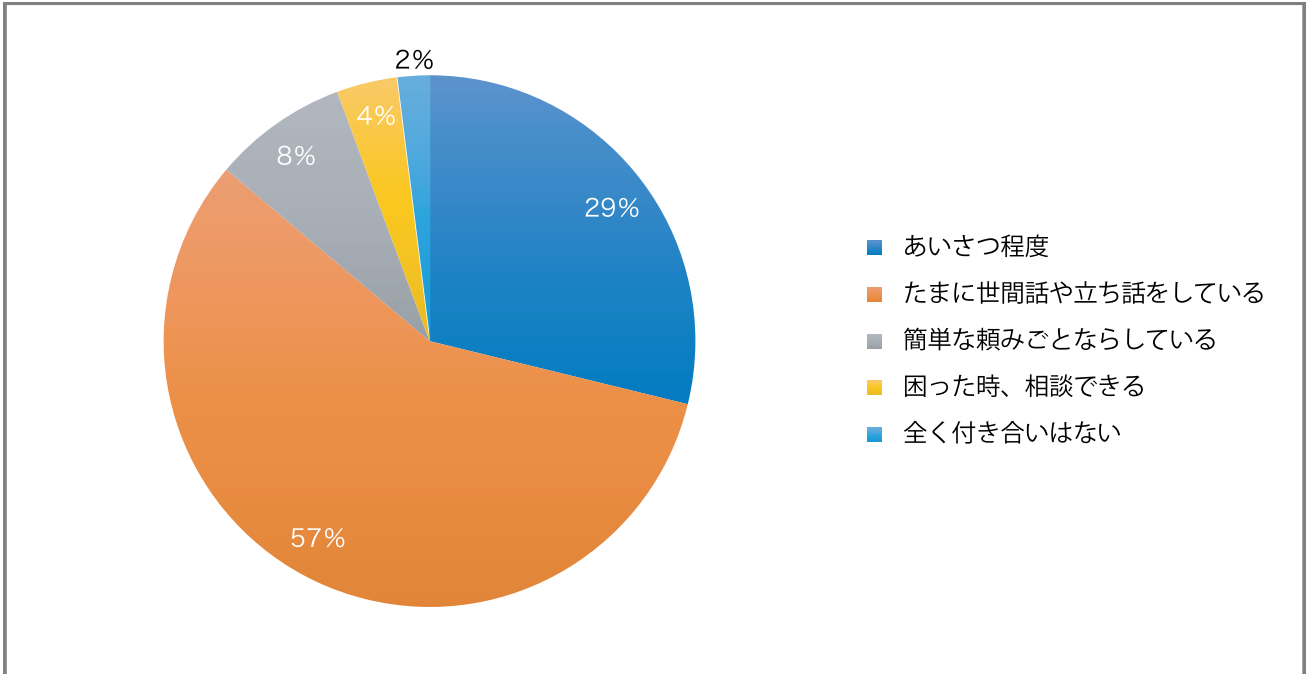


2-問3 魅力ある地域にするために、どのような活動の充実を期待しますか。
(2つまで選択)

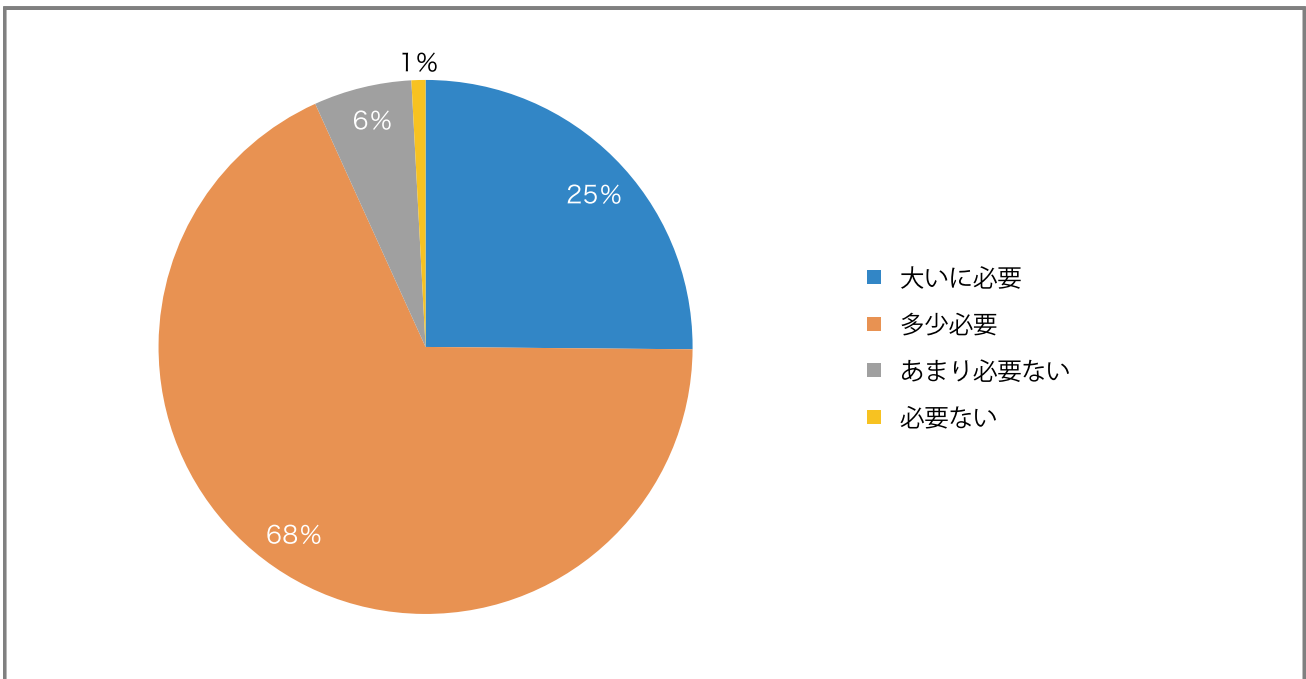


(単位：人)

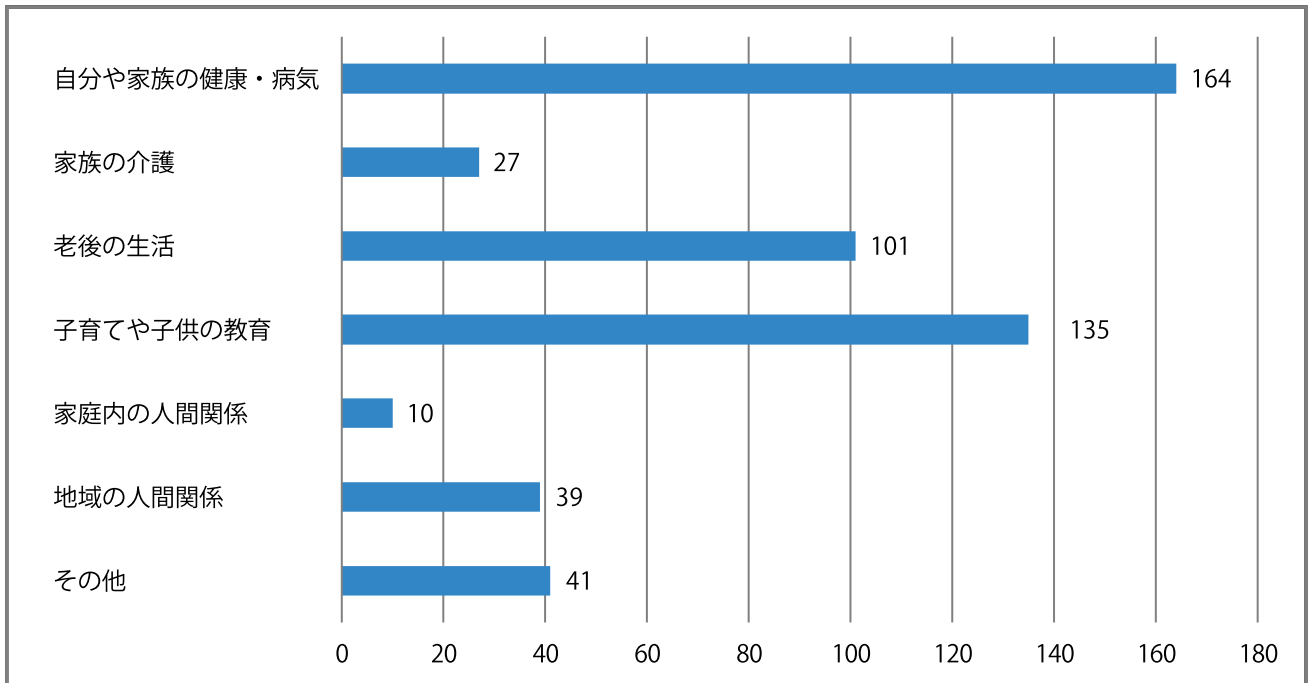
3-問1 近所の方とどの程度お付き合いしていますか。



3-問2 あなたは、ご近所による助け合いは必要だと思いますか。

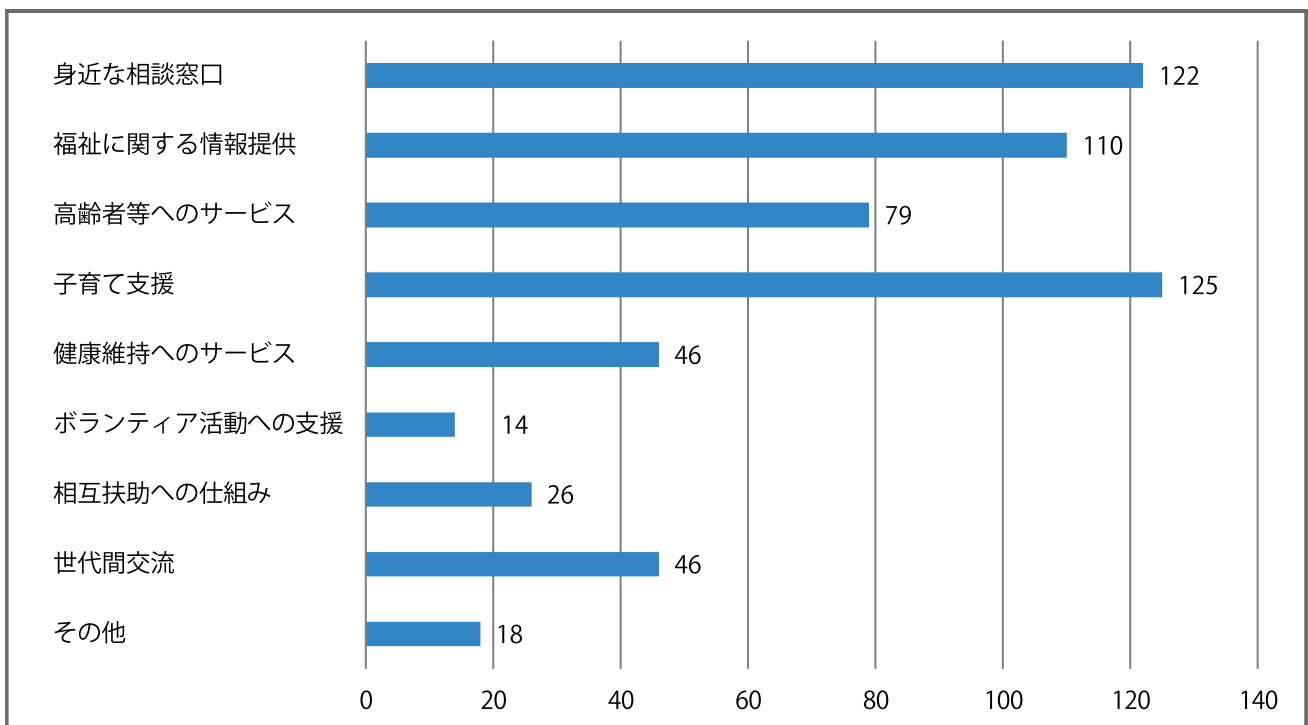


3-問3 日頃どのような悩みや不安を感じていますか。(2つまで)



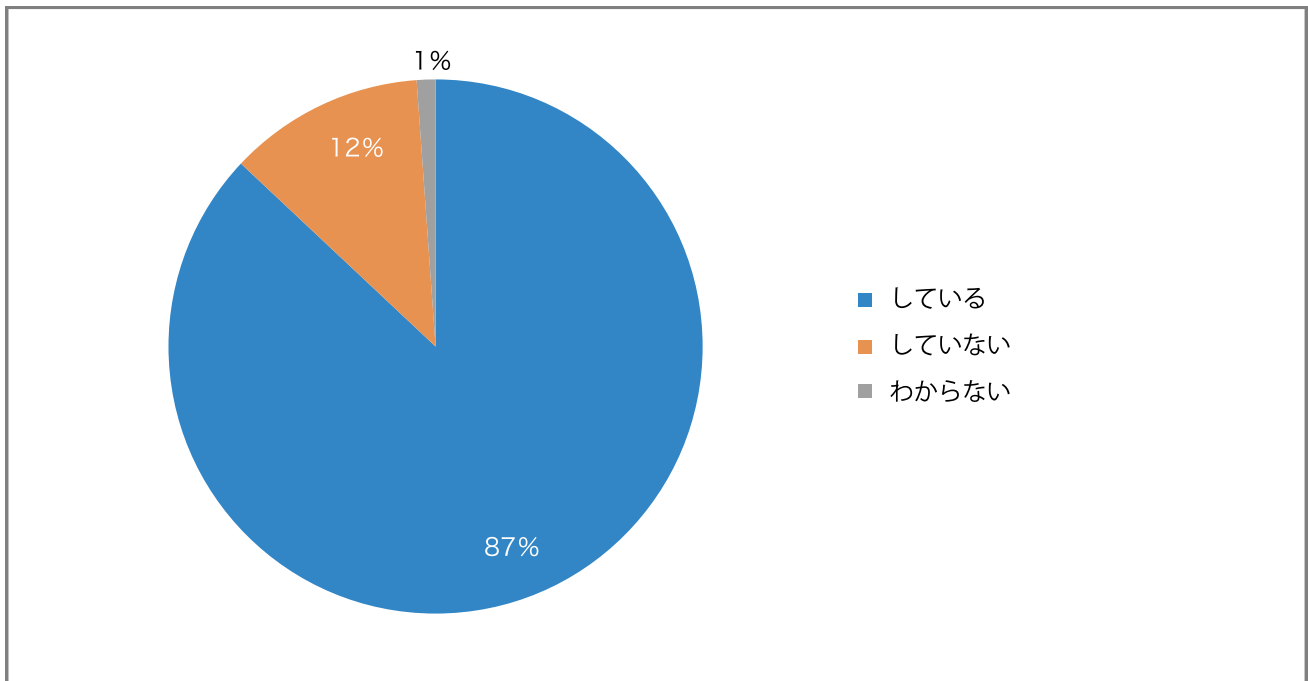
(単位：人)

3-問4 地域の福祉を更によくするためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで)

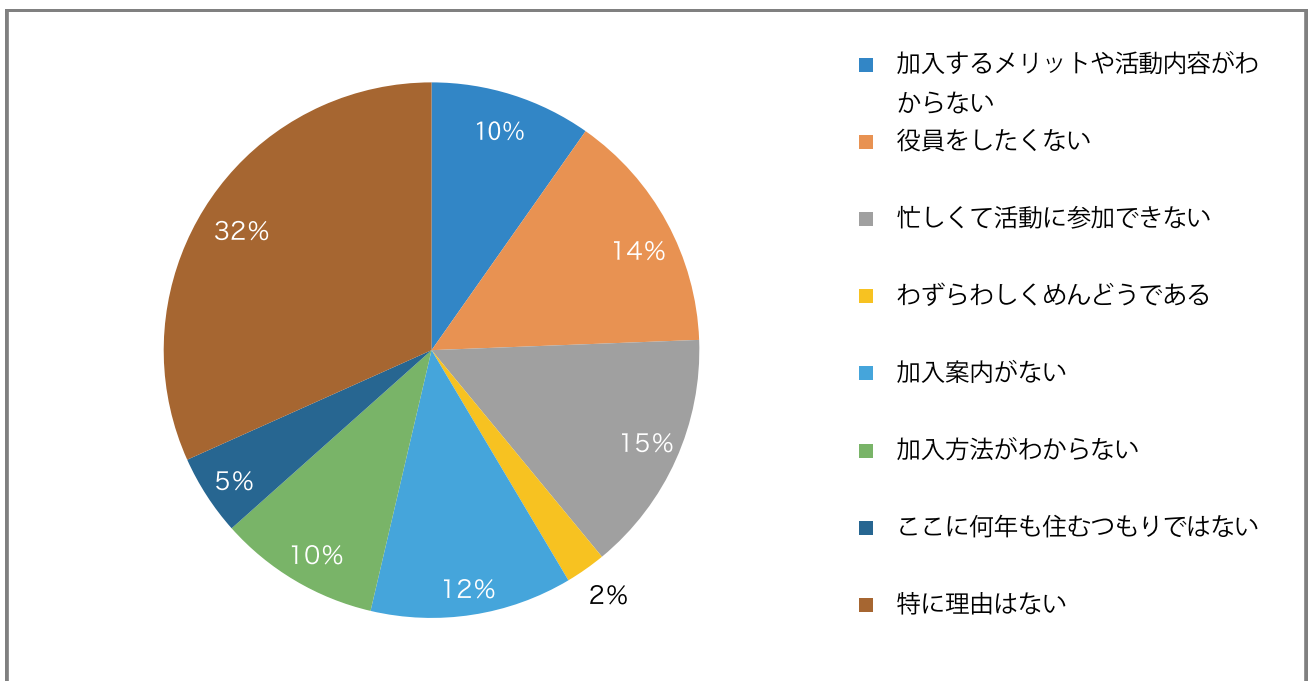


(単位：人)

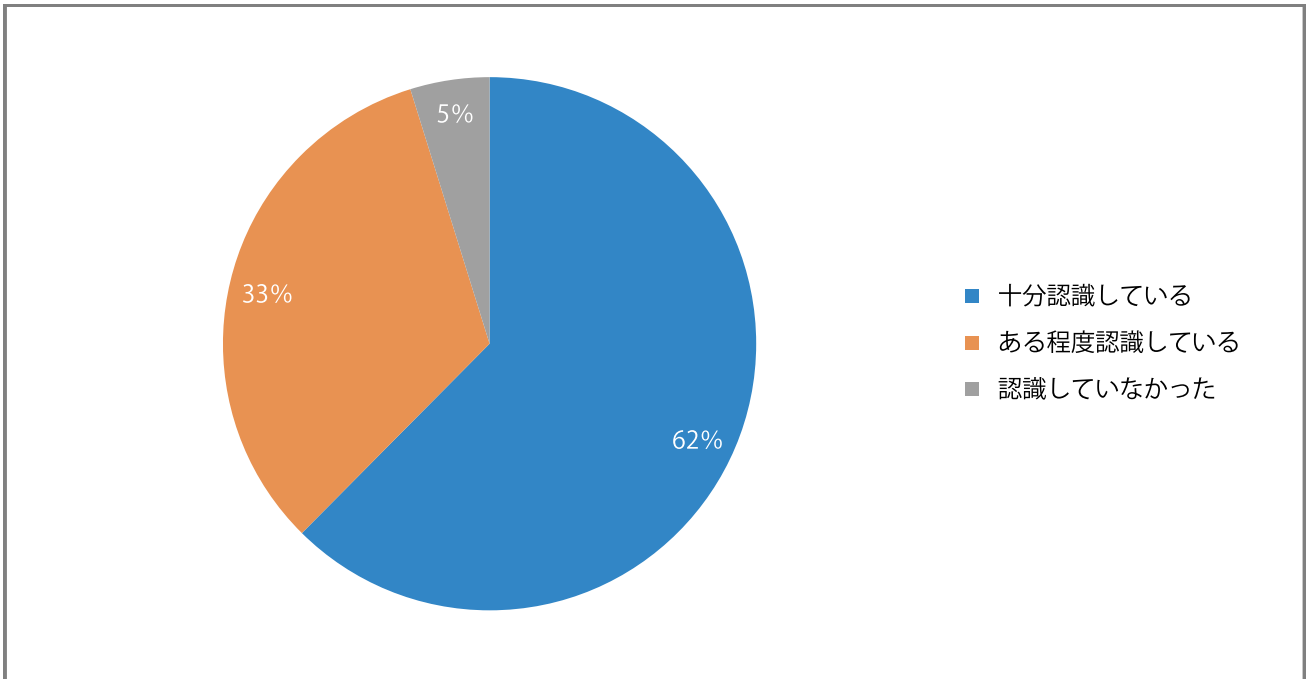
3-問5 あなたの世帯は町内会に加入していますか。



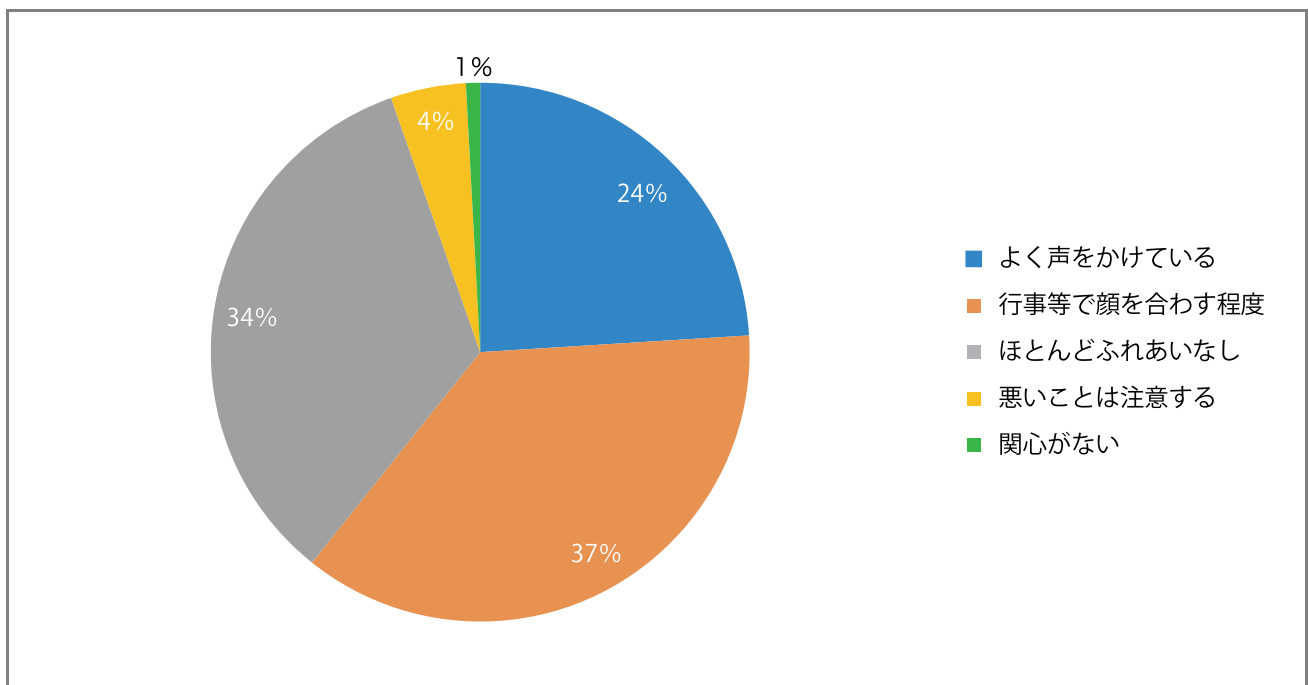
3-問6 「加入していない」と回答された方にお伺いします。加入していない理由をお聞かせください。



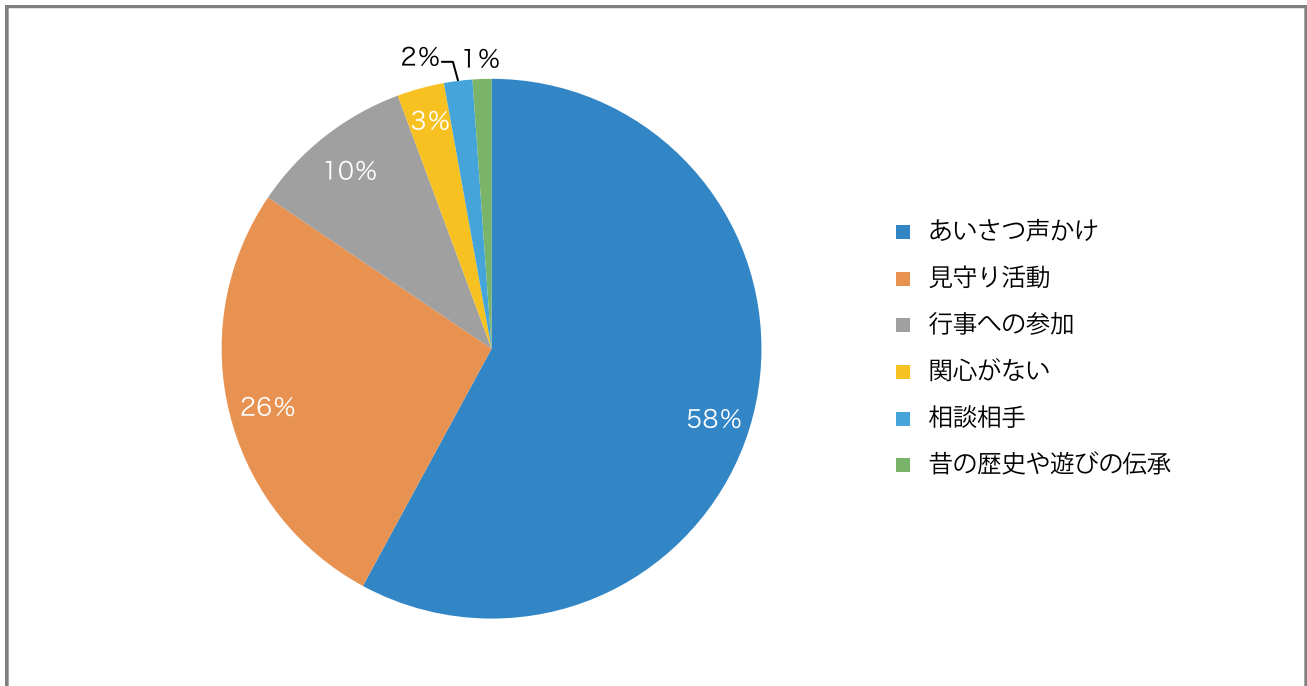
3-問7 町内会がごみステーションや防犯灯の設置・管理など担う相互扶助の住民自治組織であることを認識していますか。



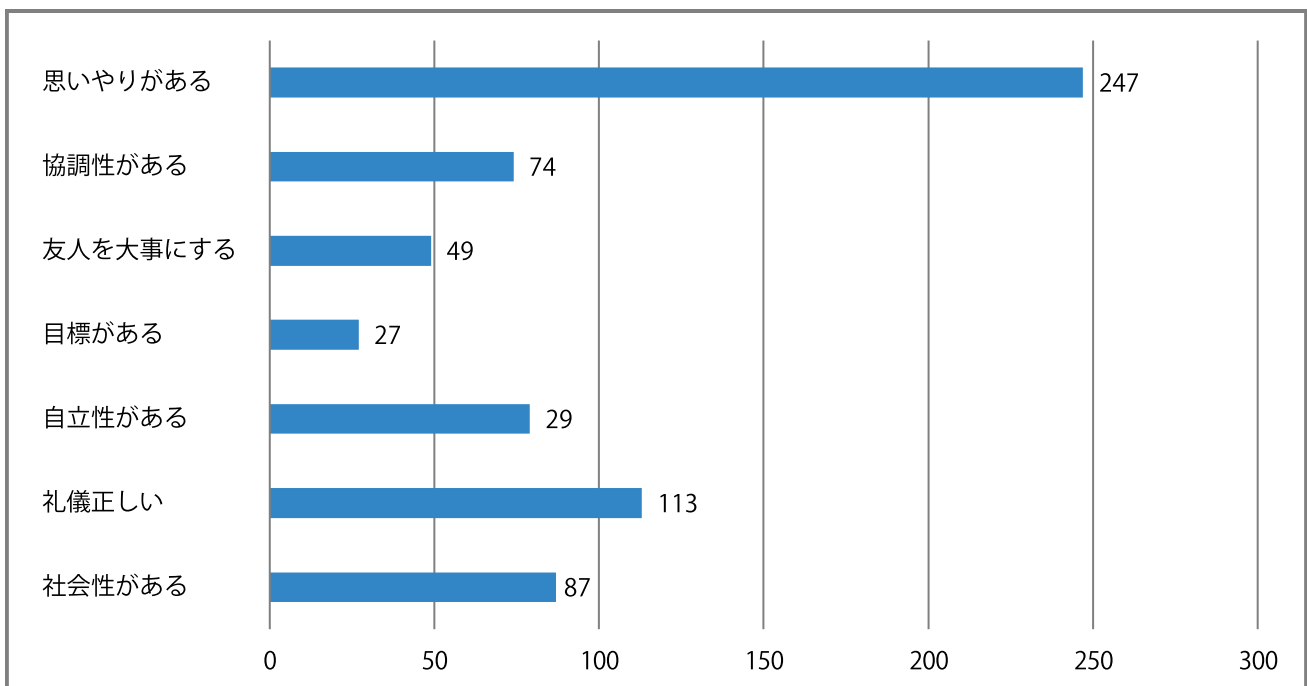
4-問1 日頃校区の子どもたちと、どの程度関わりを持っていますか。



4-問2 青少年育成のため、協力したいと思うことは何ですか。

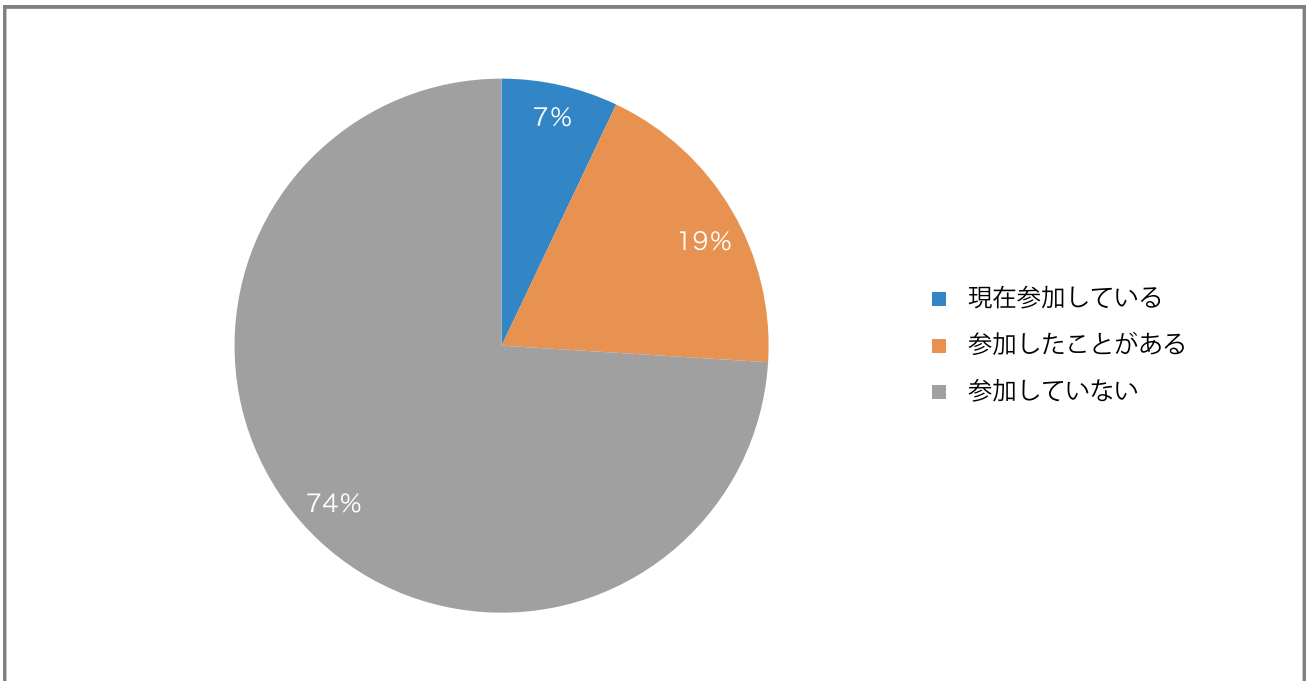


4-問3 これからどのような子どもに育てて欲しいですか。(2つまで)

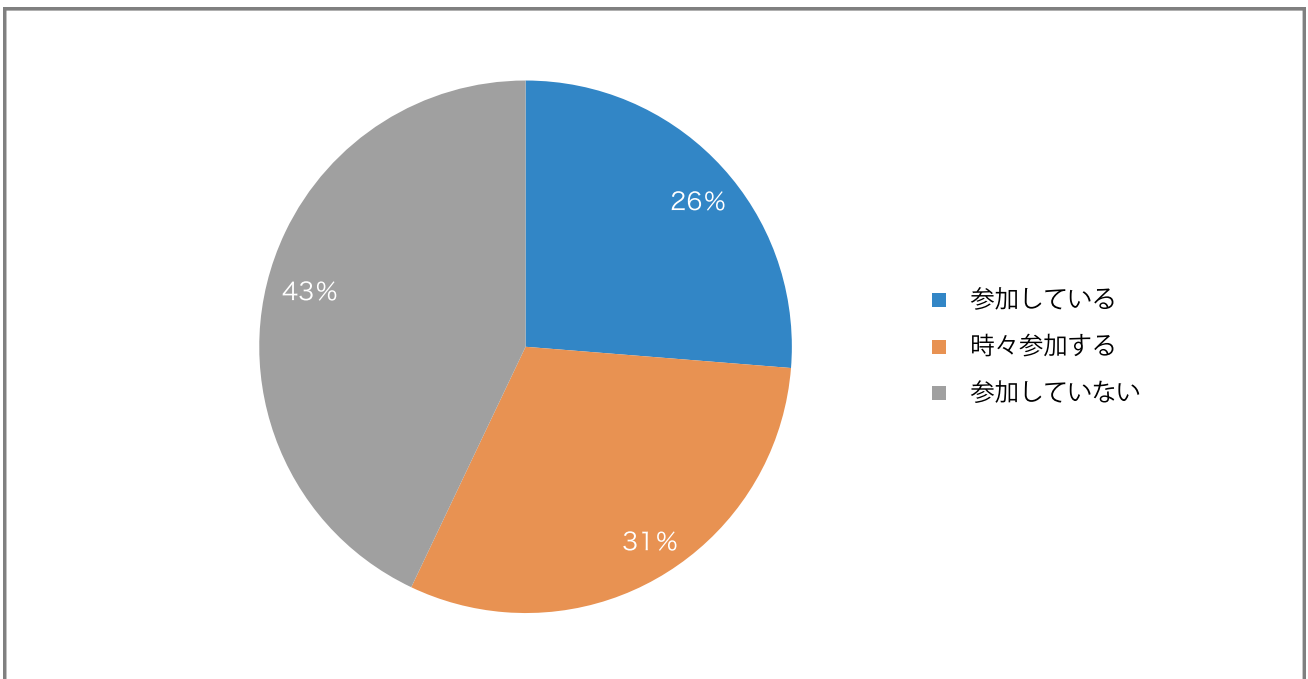


(単位：人)

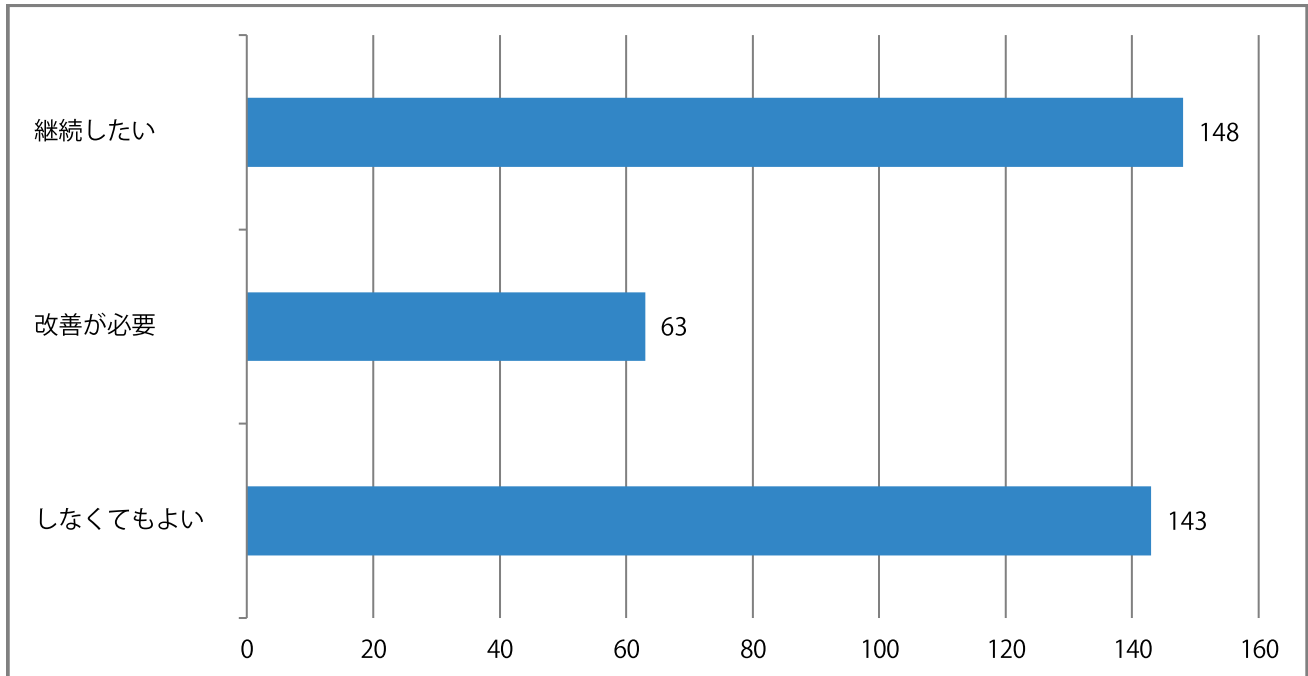
5-問1 校区の社会学級（成人・女性）などに参加したことがありますか。



5-問2 校区のスポーツ行事や地域活動に参加していますか。

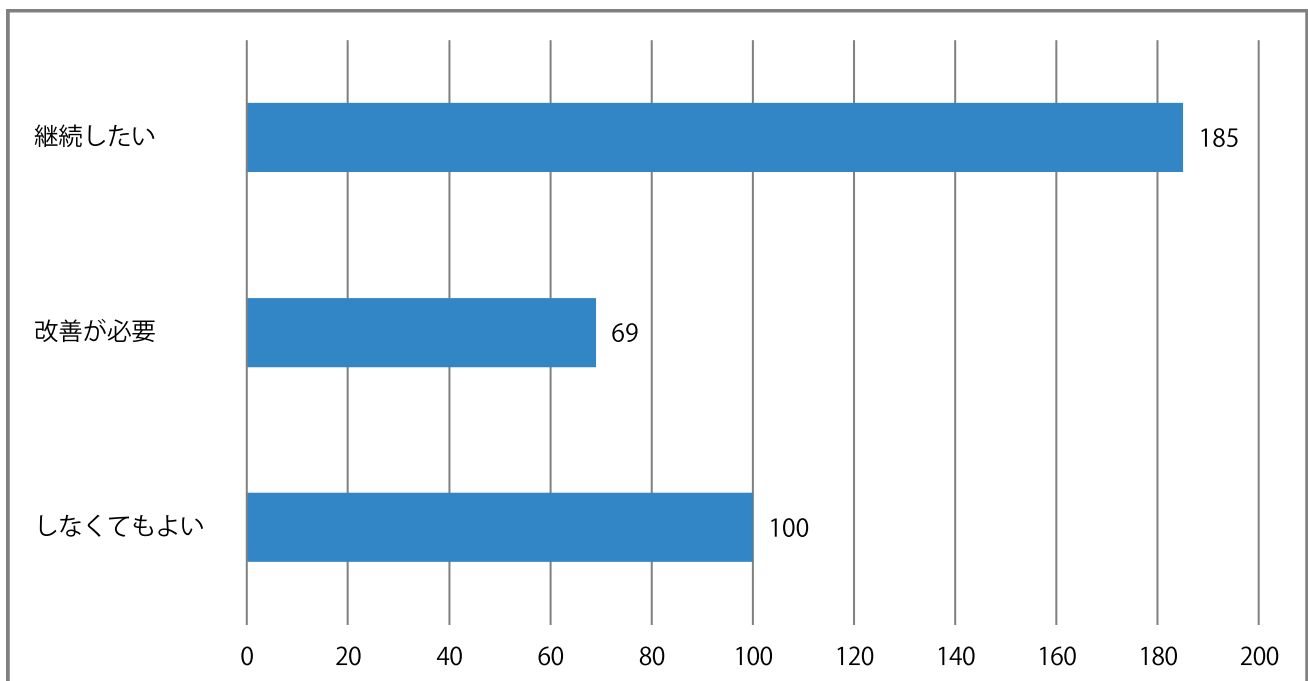


6-ア あいご球技大会



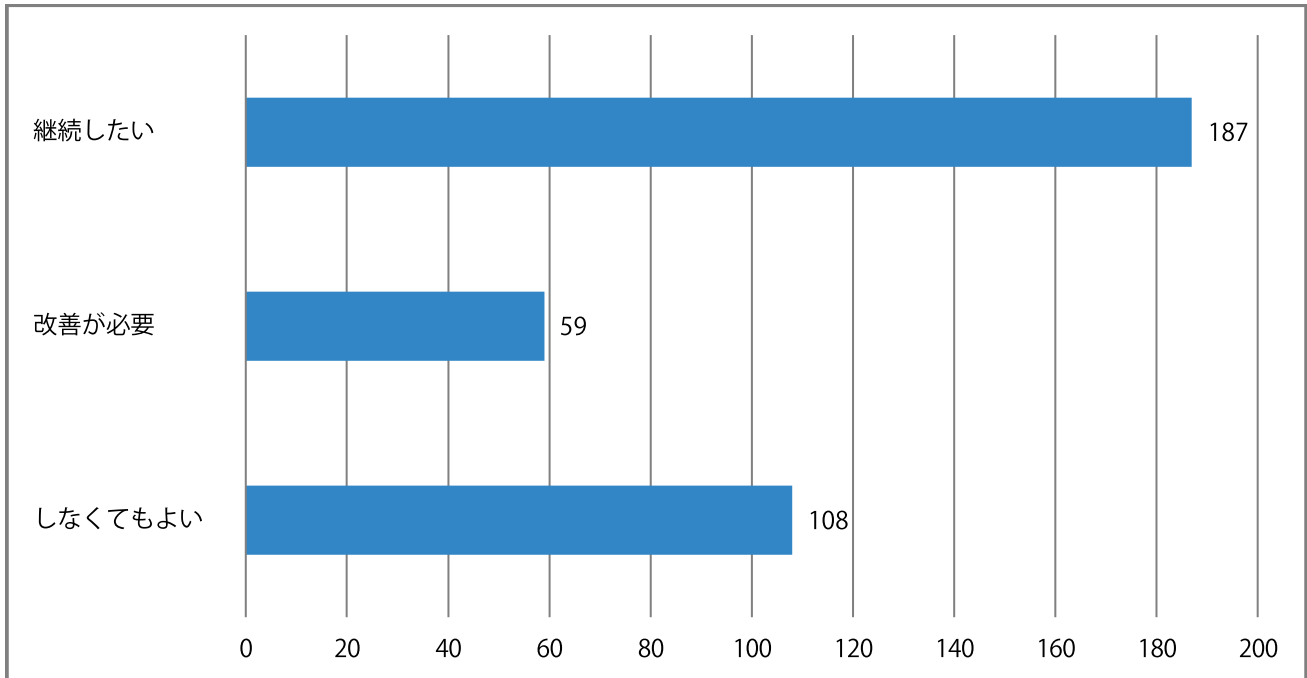
(単位：人)

6-イ 校区大運動会



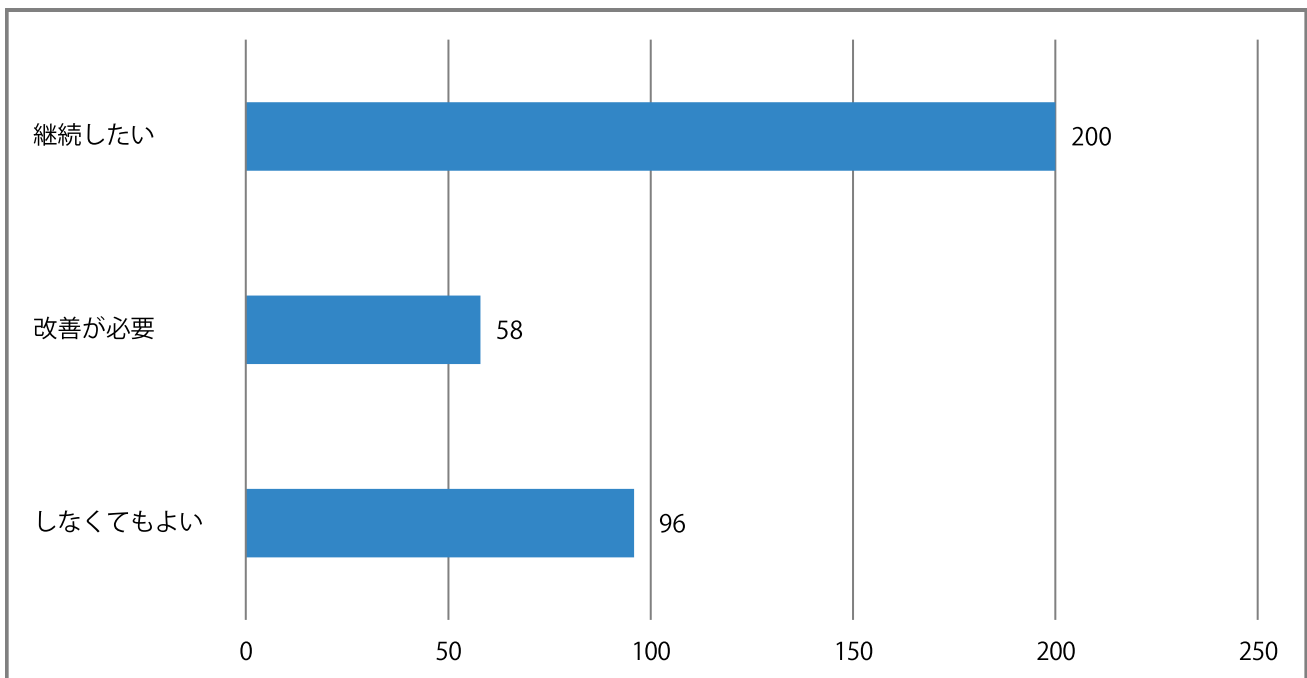
(単位：人)

6-ウ 校区文化祭



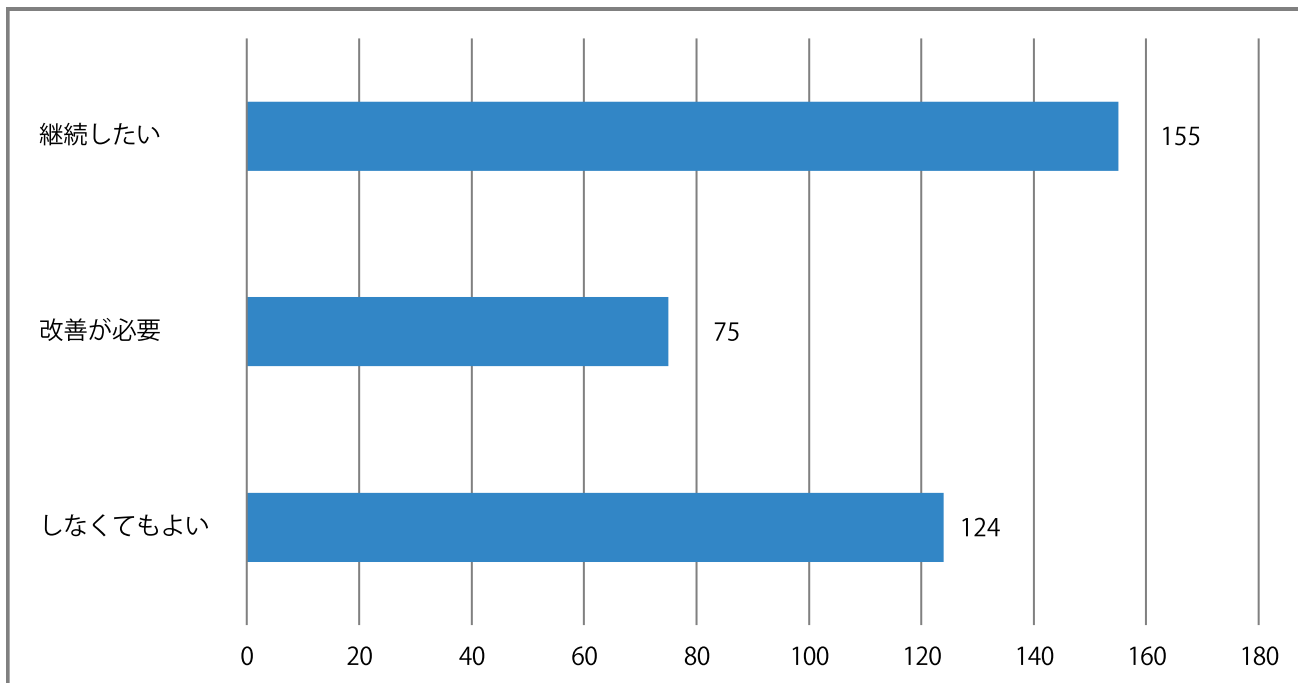
(単位：人)

6-エ 敬老会



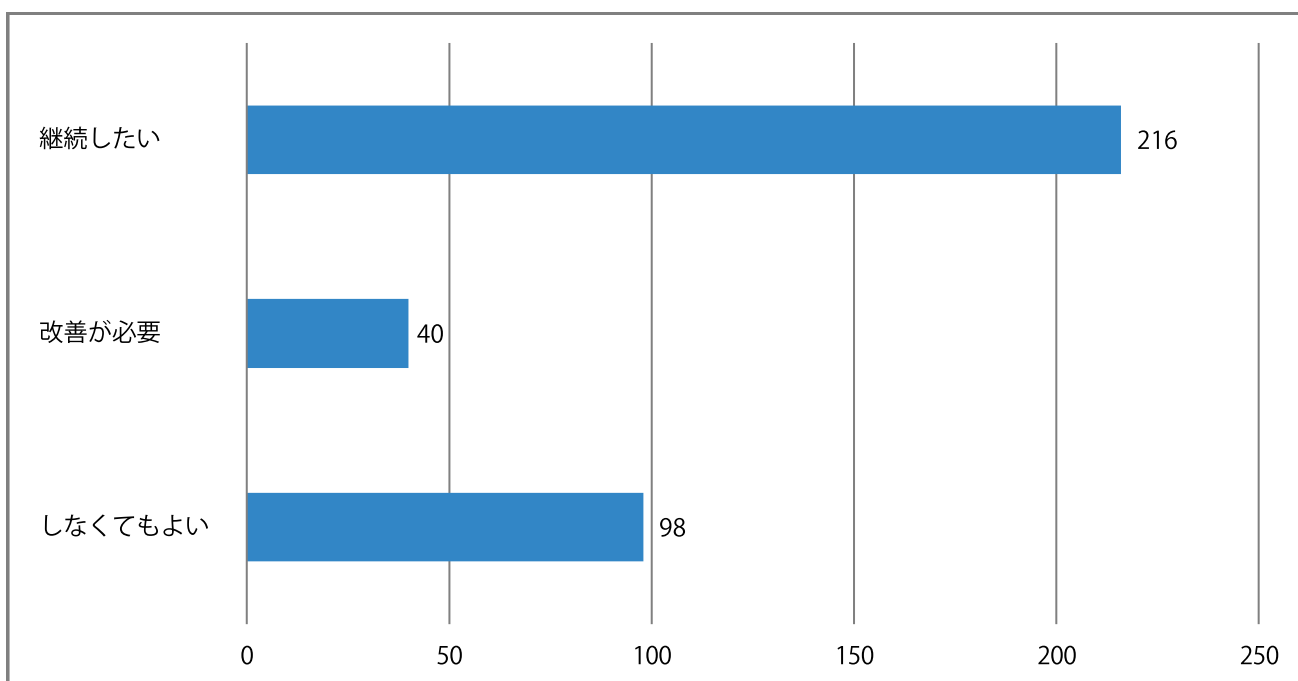
(単位：人)

6-オ 青少年育成大会（昔のお正月遊び）



(単位：人)

6-カ 鬼火焚き



(単位：人)

- ・ 町内会へ加入しているが、ごみステーションや街灯など未加入の世帯の方も恩恵を受けていることに不公平感を感じる。
- ・ 校区や町内会の行事が増えるのは、参加できないことも増えるので、あまり増やさないでいいと思う。
- ・ 和田川沿いに住んでいます。せめて年2回（夏・冬）でいいので、川沿いの木の伐採、草刈り等を必ずやっていただきたいと思います。
- ・ 小規模で地域住民が集まる学びの場が欲しい。
- ・ 町内会未加入者に対して、電柱防犯灯やごみステーション管理は町内会のおかげである事のPR。
- ・ 子供達の運動能力やお年寄りの健康の為にみんなが楽しく遊具で遊べて、お年寄りも楽しめる広々とした公園施設を作って欲しいと思います。
- ・ 防災・防犯・災害時の対応などにもっと積極的に取り組み、それをアピールして、安心な住みよい校区というイメージを作り、住民皆で助け合うという意識を持てるような校区になればいいと思う。
- ・ 地球全体で異常気象が続いている昨今、自然災害から命を守るが大きな課題になっている。校区全体としての企画も大事ではないかと感じる。
- ・ 町内会もあいご会も加入しない人がいて地域のコミュニティが心配。
- ・ 地域の防災放送が窓を開けたり外に出て聞こうとしてもかなり聞き取りにくいので、各家庭に防災無線を設置して欲しい。
- ・ 回覧板が多すぎます。メールなどの伝達方法の検討が必要なのではないでしょうか。

プラン策定までの経過

年 月 日	会 議 名	内 容
2年 11月 19日 (木)	第1回プラン策定委員会	コミュニティプラン策定計画の説明
12月 3日 (木)	第2回プラン策定委員会	コミュニティプラン策定計画の説明
3年 1月 7日 (木)	第3回プラン策定委員会	コミュニティプラン策定計画
2月 25日 (木)	第4回プラン策定委員会	コミュニティプラン策定計画
3月 25日 (木)	第5回プラン策定委員会	アンケート実施要項検討
4月 27日 (火)	第6回プラン策定委員会	アンケート実施内容検討
5月 10日 (月)	第7回プラン策定委員会	定期総会（書面）での承認
6月 25日 (金)		アンケート配布
7月 6日 (火)	第8回プラン策定委員会	アンケート集計
10月 12日 (火)	第9回プラン策定委員会	アンケートの集計・分析
10月 26日 (火)	第10回プラン策定委員会	校区の現状・課題調査実施
11月 9日 (火)	第11回プラン策定委員会	校区の現状・課題の把握
11月 16日 (火)	第12回プラン策定委員会	校区の現状・把握の確認
11月 30日 (火)	第13回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子の原案作成
12月 14日 (火)	第14回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子の原案校正
4年 1月 7日 (金)	第15回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子の原案校正
1月 11日 (火)	第16回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子の原案校正
1月 25日 (火)	第17回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子の最終校正
2月 22日 (火)	第18回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子 整理
3月 1日 (火)	第19回プラン策定委員会	「コミュニティプラン」冊子 提示
5月 日 ()	第20回プラン策定委員会	令和4年度 定期総会 「コミュニティプラン」策定承認

プラン策定委員

	委員	氏名
1	協議会会長	四元光司
2	協議会副会長、社会体育部長	加納純徳
3	まちづくり総務部長	久永佳弘
4	まちづくり総務副部長	長野浩明
5	青少年育成部長	肥後大祐
6	社会教育部長	林茂樹
7	地域福祉部長	山下岩雄
8	文化研修部長	久保美奈子
9	協議会会計	西川貴美
10	事務局職員	平本美紀
11	アドバイザー	山之内 誠
12	アドバイザー	前木場 幸太



